あいづばんげ

『いにしえ街道』マラソン大会2012

町最大のスポーツ・イベントであるマラソン大会が10月14日（日）に坂下小学校前をスタート・ゴールに開催された。

今年は北京オリンピックマラソン代表佐藤敦之選手、駒澤大学陸上競技部、ロンドンオリンピックボクシング代表須佐勝明選手を招待し、町内外の幼稚園児から70歳代まで1,041名のランナーが参加。天候にも恵まれ、街路樹が色づく秋空のもと広々としたコースをランナーが駆け抜けた。

沿道にはたくさんの方が応援にかけつけ声援を送っていた。

◆各部優勝者（網掛けは大会新記録）◆

部門	種目	氏名	所属	記録
1	高校生男子（10km）	若菜　優雅	喜多方桐桜高	32分34秒
2	男子（10km）（39歳以下）	鴻巣　隼人	ふくしま駅伝 会津美里町チーム	32分18秒
3	男子（10km）（40歳以上）	雅楽川隼人	ふくしま駅伝 西会津町チーム	37分24秒
4	中学生男子（5km）	櫻田　克	ふくしま駅伝 会津美里町チームA	16分05秒
	団体	ふくしま駅伝会津美里町チームA		
5	高校生男子（5km）	齋藤拓実	喜多方東陸上部	15分47秒
6	男子（5km）（39歳以下）	田代　直希	ふくしま駅伝 会津坂下町チーム	14分56秒
7	男子（5km）（40歳以上）	高橋　誠	ふくしま駅伝 喜多方市チーム	17分15秒
8	男子（5km）（50歳以上）	前林　和幸	郡山自衛隊	17分24秒
9	男子（5km）（60歳以上）	藤田　隆	上小川一走人	19分56秒
10	中学生女子（3km）	星　梨佳	ふくしま駅伝 会津美里町チーム	9分54秒
	団体	ふくしま駅伝会津美里町チーム		
11	高校生～一般女子（3km）	猪俣　美樹	ふくしま駅伝 喜多方市チーム	11分29秒
12	小学6年男子（2km）	清野　太雅	喜多方市立 松山小学校	6分40秒

部門	種目	氏名	所属	記録
13	小学6年女子（2km）	鈴木　真奈	猪苗代 スポ少陸上部	7分39秒
14	小学5年男子（2km）	塚野　楓	塩川陸上 スポーツ少年団	7分28秒
15	小学5年女子（2km）	星野　陽色	猪苗代 スポ少陸上部	7分32秒
16	小学4年男子（2km）	吉田　睦	千里スポ少陸上部	7分53秒
17	小学4年女子（2km）	渡部　春雅	さいたま市立 宮前小学校	7分59秒
18	小学3年男子（2km）	星　那宥	会津美里町立 高田小学校	7分51秒
19	小学3年女子（2km）	高橋　和奏	磐梯町 マラソンクラブ	8分29秒
20	小学2年男子（1km）	小山　勇羅	柳津町立 柳津小学校	3分46秒
21	小学2年女子（1km）	鈴木　一葉	猪苗代 スポ少陸上部	3分54秒
22	親子　父と1年生以下（1km）	笠間 裕人・莉斗	千里スポ少陸上部	3分43秒
23	親子　母と1年生以下（1km）	名須川 志津・千聖	坂下小学校	4分40秒
24	親子父と幼稚園児相当以下（1km）	羽曽部 文寿・麻衣	坂下幼稚園	3分54秒
25	親子母と幼稚園児相当以下（1km）	阿部 真希・亮太	相馬市立 中村幼稚園	5分02秒

「第20回下水道フェスティバル」が盛大に開催されました!!

平成24年10月13日（土）

～下水道　お水がいってる　またくるね～

（平成24年度下水道推進標語）

さわやかな秋晴れの下、坂下東浄化センターにおいて、「第 20 回下水道フェスティバル」が盛大に開催されました。

442 名と多くの方々にご来場いただき、会場内は終始にぎやかな笑い声に包まれていました。

【第20回下水道フェスティバルの模様】

下水道フェスティバルは、下水道の普及啓蒙を図るため、平成 5 年から毎年開催され、今年で20回目を数えます。

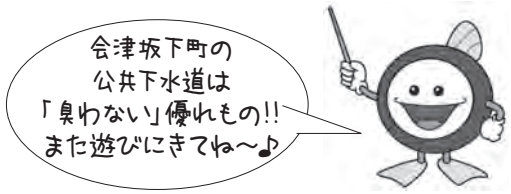
「ミニコンサート」をはじめ、「焼きそば」、「味噌田楽」、「駄菓子」、「金魚すくい」、「風船」、「くじ」等の模擬店や、「微生物観察コーナー」、「施設見学」等、さまざまなイベントを通して、下水道について理解を深めていただきました。

各種模擬店

微生物観察

焼きそば・味噌田楽

金魚すくい（上手だね～!!）



ばんげぼんげ音楽アーティスト協議会によるミニコンサート

ごみ処理手数料の状況をお知らせします

町は、老朽化しているごみ処理施設の更新に備え、ごみ減量化を推進するため、平成22年10月からごみ袋処理手数料を有料化しています。手数料は、ごみ袋やごみ処理シールの販売価格に含まれています。平成22～23年度のごみ処理手数料の収入状況とその使途についてお知らせいたします。

ごみ処理手数料総額

平成**22**年度　**9,708,905**円

平成**23**年度　**14,934,733**円　　合計 **24,643,638**円

今後予定されている廃棄物処理施設のための積立をしています

○会津坂下町廃棄物処理施設整備基金として

平成22年度　5,231,905円

平成23年度　7,469,733円　　合計　12,701,638円

○会津若松地方広域市町村圏整備組合での基金として

施設整備のために広域圏で町村ごとに積み立てている基金に繰り入れます。

平成23年度　3,185,000円

ごみの減量化推進のため、以下のような事業に使われています。

平成22年度　4,477,000円

平成23年度　4,280,000円　　合計　8,757,000円

○資源ごみ回収報奨金（平成22年度1,000千円、平成23年度2,000千円）

ＰＴＡ、婦人会等による資源物回収を増やすため、資源回収物1kgに対し4円を交付します。

○家庭系ごみ減量化報奨金（平成22年度985千円、平成23年度1,978千円）

地域での分別指導や集積所の維持管理・不法投棄への対処を行うため、（世帯数×200＋10,000）円を行政区に交付します。

○廃棄物減量化補助金（平成22年度70千円、平成23年度200千円）

家庭での生ごみの減量化を図るため、コンポスト・電動生ごみ処理機・ＥＭバケツを購入した際に補助します。補助額は、購入金額の半額（100円未満切捨、上限有）です。

○不法投棄パトロール（平成22年度757千円）

町内での不法投棄の防止のため、パトロール及び、不法投棄物の回収を行います。

○収集容器の更新等（平成22年度1,665千円、平成23年度102千円）

各集積所で古くなった分別収集容器の更新等を行います。

▼問い合わせ先　戸籍環境班（⑨番窓口）TEL 84-1500

㈱あいづダストセンター

事業系一般廃棄物・粗大ごみ等
廃棄物のことならお気軽にご相談下さい

Certification Europe ISO 14001 EMS ISO 14001:2004 2006 / 329

□本　社／会津若松市神指町大字南四合字才ノ神461　　℡0242-36-5351
□事業所／柳津町大字藤字鶴ヶ峯4330-23　　℡0241-42-2890

平成24年度　上半期の財政状況

平成24年度上半期の町財政について

平成24年９月末現在の当町の家計簿は、下の表のとおりです。

９月末までの補正予算や前年度の繰越予算を含めた総額は102億9,105万円（繰越予算5億3,097万円）となり、上半期を経過した現在、歳入歳出とも予定通りに執行されています。

町財政は、地方交付税等の減収が続く一方、教育施設の整備等による建設費の増加など、臨時的な支出が増加していますが、町の行政経営改革プランや第５次振興計画に基づき、より効果的で効率的な行財政運営に努めています。

上半期の主な事業としまして、東日本大震災に伴う県南・会津・南会津地域給付金事業や教育施設適正配置に基づき平成25年度に開校する統合小学校改修及び統合幼稚園園舎の新築工事等が進められています。

一　般　会　計　（平成24年4月～9月）

歳　入

（単位：千円）

科　目	予算現額	収入済現在高	収入率（%）
町税	1,492,001	875,662	58.7
地方譲与税	125,000	34,388	27.5
利子割交付金	3,800	1,355	35.7
配当割交付金	1,800	452	25.1
株式等譲渡所得割交付金	900	0	0.0
地方消費税交付金	169,200	82,460	48.7
自動車取得税交付金	31,300	10,472	33.5
地方特例交付金	23,500	4,926	21.0
地方交付税	2,745,757	1,944,679	70.8
交通安全対策特別交付金	2,600	1,372	52.8
分担金及び負担金	38,017	17,808	46.8
使用料及び手数料	112,072	48,348	43.1
国庫支出金	794,739	156,806	19.7
県支出金	1,939,718	1,210,993	62.4
財産収入	7,340	4,449	60.6
寄附金	300	1,475	491.7
繰入金	127,812	0	0.0
繰越金	239,831	239,831	100.0
諸収入	218,212	65,288	29.9
町債	2,217,160	800	0.0
合計	10,291,059	4,701,563	45.7

財政調整基金残高	190,788

歳　出

（単位：千円）

科　目	予算現額	支出済現在高	執行率（%）
議会費	109,318	57,497	52.6
総務費	1,180,995	436,270	36.9
民生費	2,855,235	1,741,294	61.0
衛生費	378,216	175,778	46.5
労働費	7,705	7,301	94.8
農林水産業費	527,440	121,713	23.1
商工費	206,454	117,961	57.1
土木費	889,172	342,459	38.5
消防費	309,311	209,661	67.8
教育費	2,777,058	759,724	27.4
災害復旧費	78,455	19,871	25.3
公債費	831,136	317,444	38.2
諸支出金	108,754	16,554	15.2
予備費	31,810	0	0.0
合計	10,291,059	4,323,526	42.0

繰越予算の主なもの

学校建設費	485,310
農業施設災害復旧費	45,670

減債基金残高	20,080

「地域コミュニティセンター」の設置に向けて

vol.2

平成25年度から地域の住民が主体的に取り組む総合的な地域づくり・地域活性化の拠点となる施設が「地域コミュニティセンター」（現在の地区公民館）です。これまでの公民館における生涯学習事業のほか、福祉・防災・防犯・環境など地域づくりに関するあらゆる分野での事業の実施や将来的にはコミュニティビジネスといった事業展開も可能となり、地域の発展を目指します。

現在、町では地域の住民代表、NPO法人NIVOで組織している「地域づくり推進委員会」において、来年度の地域コミュニティセンターの設置に向けて、地域づくりの仕組みの構築や条例の制定について協議をしています。

【地域づくりの基本的な考え方】（第２回地域づくり推進員会より）

①自ら地域の課題を考え、自分たちで解決していく。
②思いがかなう地域づくり。知恵を出し、楽しく活動する。
③自分たちができることは、自分たちで実行する。
④安心して暮らせる。支え合える。その地域らしく特色を！

基本的な考え方を実践するために

○地域資源（財産）を大切にする
○みんなで力を合わせる
○気兼ねなく挨拶、意見を出せる
○ＰＤＣＡ（※）の中で、みんなが役割を担う
○良き文化を継承する
○老若男女が参加する
○目標・理念を共有する
○活動拠点を整備する

※「ＰＤＣＡ」とは「事業活動における管理方法の一つで、**P**（Plan　計画）→**D**（Do　実行）→**C**（Check　評価）→**A**（Action　見直し）の４段階を繰り返すことにより事業を継続的に改善していく。」こと

地域づくりの拠点となる地域コミュニティセンターへは、下記の機能を持たせることとしています。

1．地域づくり計画の立案と事業の実施
2．生涯学習事業
3．全ての地域活動の事務局的役割
4．各種団体の連携・協力・支援
5．地域の情報集積と発信
6．行政との協働・連携
7．地域づくりの人材の育成
8．その他（地域の独自性を活かした機能）

【問い合わせ先　政策企画班　TEL 84-1504】

私たちの学校

町内の保育所・幼稚園・小学校・中学校から、子どもたちの学校での様子をお伝えします！

交通安全・地域安全を願い
小学校鼓笛隊パレード

10月５日、町内４小学校による鼓笛隊パレードがライヴァン通りを中心に行われた。４校でのパレードは今年度で最後という事もあり広瀬小学校は全校児童で参加するなど、各小学校鼓笛隊、交通防犯各関係団体約600名が、町民の皆さんへ交通安全と地域安全を力強い演奏で呼びかけた。

沿道からは、小学校鼓笛隊の素晴らしい演奏に大きな拍手が送られた。

坂下小学校

若宮小学校

広瀬小学校

金上小学校

小学校陸上記録会

９月27日、秋空の中、町内各小学校の５・６年生全員（約330人）が陸上記録会に出場した。

競技が始まると、同級生や保護者が声援を送る中、それに応えるかのように次々と高記録も出て、満足そうな子どもたちの表情が見られた。

５年生女子80㍍障害で鈴木麻央さん（坂下小）が14秒９、６年生女子80㍍障害で五ノ井咲季さん（坂下小）が13秒１の大会新記録で優勝した。

オープン400㍍リレーは、男子が１分１秒０で坂下小Ａ、女子は１分３秒４で坂下小Ａが優勝した。

大河ドラマ八重の桜「中野竹子プロジェクト」第2弾

《中野竹子イメージキャラクター「こたけちやん」をご利用ください！》

会津坂下町は平成25年大河ドラマ「八重の桜」を応援しています。
八重の桜にも登場する「中野竹子」を通じて当町を広くＰＲするために作成したイメージキャラクター『こたけちゃん』を町民の皆様にご利用いただき、ＰＲをよろしくお願いいたします。

▼「こたけちゃん」キャラクター及びロゴ文字のご利用方法

「こたけちゃん」キャラクター及びロゴ文字を使用する際には、使用申請が必要となります。申請書は、㈳会津坂下町観光物産協会に準備してあるものに記入していただくか、町ホームページからダウンロードすることができます。

（例）〇商品にこたけちゃんシールを貼って使用する。
〇各種パンフレット等に使用する。
〇年賀状や案内状などにプリントして使用する。などなど…。
※イラスト及びロゴのデータをＣＤでお渡しします。

申請先　㈳会津坂下町観光物産協会　TEL 83-2111

▼「こたけちゃん名刺」すぐにダウンロードできます

「こたけちゃん」の可愛らしいイラストが入った名刺フォーム（画像）を作成しました。町のホームページから簡単にダウンロードすることができます。使用申請の必要はありませんのでお気軽にご利用ください。

【問い合わせ先　商工観光班　TEL 83-5711】

黒船来航から「中野竹子」が戦死する会津戦争までの歴史(1)

昨今「お台場」といえば東京臨海副都心の愛称で、映画『踊る大捜査線』により特に有名となりました。そもそも「お台場」と何か。幕府は二度目のペリー来航に備え、品川沖に砲台を持つ台場を設置して各藩に対して守備を命じました。これをお台場と呼んだことに由来します。この第二台場の守備に当たったのが会津藩でした。これにより、ペリーは江戸には入れず横浜まで引き返しました。しかし、軍艦の圧力に屈した幕府は、日米和親条約を結び開国します。さらに、不平等な日米修好通商条約で貿易も始まり、庶民は物価高騰に苦しみます。このような外交姿勢に反対して、武家や公家などに尊王攘夷運動が広がります。幕府は、1858年「安政の大獄」で吉田松陰らを処刑しますが、1860年、水戸藩浪士による「桜田門外の変」で大老の井伊直弼は暗殺されます。

会津藩主の松平容保

尊王攘夷派の浪士は倒幕を唱えて次々と幕府要人を暗殺するなか、会津藩主の松平容保は、天皇を守り京都の治安を維持するため、幕府から京都守護職を命じられます。容保は病気がちで、藩内財政も逼迫していたため固辞しましたが、福井藩主の松平春嶽に徳川に忠義を尽くすという藩祖保科正之の「家訓」を持ち出され、就任を迫られ受諾しました。

尊王攘夷を唱える長州藩は、1863年に外国船を砲撃したことで下関を占領され、同年、薩摩藩も生麦事件でイギリス人を殺傷してイギリス艦隊に鹿児島を攻撃される薩英戦争が起こります。これらにより両藩は攘夷論から開国論に大きく転じます。1864年の八・一八朝廷クーデターにより、急進派の長州藩は退けられ、会津・薩摩藩の公武合体派が優位に立つこととなります。同年、会津藩配下の新選組は、謀略を画策していた志士を池田屋に急襲して天皇と京都を守り、朝廷より感状が送られます。しかし、このことは、後に長州藩から強い恨みをかいます。禁門の変、蛤御門の戦いでは、薩摩藩とともに戦い激戦の末、長州藩に勝利しました。この戦いでは、山本八重の兄である山本覚馬も砲撃を指揮し、その働きにより、功績中等を授与し、公用人に任ぜられました。

【問い合わせ先　文化振興班　TEL 83-2234】

戦後復興期の八幡小学校

会津坂下町史『近代・現代』編から（発売中）

八幡小学校の前身である八幡尋常高等小学校は、昭和十五年（一九四〇）十二月二十五日、恵隆寺と心清水八幡宮の近くに移転した。正に「会津平野と磐梯を眺めて学ぶ理想郷」（旧八幡中学校校歌より）の高台に位置し、朝日に輝く校舎となる。これは、旧八幡村出身の中野友禮（一八八七～一九六五）の寄付で賄われた（昭和四十七年に顕彰碑が建てられている）。

中野友禮

昭和3年（1928）頃の八幡尋常高等小学校

彼は、日本曹達株式会社を設立して様々な事業を起し、国内十五の財閥の一つに数えられる日曹コンツェルンを築き上げた。その小学校は翌十六年の国民学校令により、八幡村国民学校と改称されて昭和二十年（一九四五）の終戦を迎える。

その年の八月十五日、空は真夏の太陽で暑かった。夏休みとはいえ、毎日勤労動員である。当時六歳～三十歳代の人達の記録『戦後復興期の体験』（平成十年十月　福島県博物館友の会）は、その日のことを「我等六年生は昼食後、担任の渡部先生から日本が『無条件降伏』したことを告げられ、全員が泣いた記憶がある。しかし、次の日も次の日も大きな変化はなかった。子供心にも民主主義の言葉の方が響きが良かったのかも知れない」（猪苗代町　昭和八年生　熊倉光瑞）と綴っている。もっとも、この年の三月には「決戦教育措置要項」により、全国の小学校は「国民小学校初等科ヲ除キ、学校ニ於ケル授業ハ昭和二十年四月一日ヨリ昭和二十一年三月三十一日ニ至ル間、原則トシテ之ヲ停止スル。」という非常事態にあったのである。小学校一・二年生は授業を受けるが、三年生以上は原則として授業は中止され、勤労動員に駆り立てられる。旧八幡村の児童達は少年分団持分の田植えや草取り、そして堆肥増産のための農道の雑草採集や山に入っての草刈りと落葉集めが主な日課であった。食糧増産に向けて、「小国民」として銃後を守る戦いが必勝の精神で展開されていたのである。それは、同小学校の教育目標に見ることができる。努力事項として、戦勝祈願と「我等ハ米英ヲ撃タネバナラヌ　勝ツ、勝ツ、必ズ勝ツ」の唱和が全学年で実施されている。初等科三・四年では「負ケジ魂ノ練成」や「規則正シキ行動ノ訓練」、同五・六年では「沈着勇敢ノ精神練成」や「細心ナル注意力ト工夫創造力ノ涵養」、高等科一・二年（今の中学一・二年）では「稚心ヲ去ル訓練」や「統御指導ノ要請」が掲げられた。

しかし、国破れて山河あり。終戦の日を境に「必勝の精神」から「民主主義」の教育に変わり、子供達の日常生活も変わっていく。厳しい灯火管制も八月下旬には解除されて、家々は明るさと笑いを取り戻す。もう空襲を恐れなくてもすむのだ。ところが、九月半ば米軍部隊が会津若松市に進駐して来る。GHQ（連合国総司令部）は「軍国主義・超国家主義的教育の禁止」等の命令を出しているので、子供達は先生の指導に従い、教科書の軍国主義教育に関わる部分を墨で塗る作業をする。当時は、新たに教科書を作る紙も時間もなかった。その後、昭和二十二年（一九四七）四月に施行された学校教育法により、八幡村国民学校は八幡小学校と改称し、同時に新制中学校も置くことになった。独立校舎としての中学校建設が望まれるが、村財政にとり大変な負担になった。更に、昭和二十四年には財政再建のための超緊縮予算が敷かれ、独立校舎の中学校建築予算は全面削除される。これは、「（米の）供出（キョウシュツ）と教室（キョウシツ）は命取り」と言われ、市町村長が自殺する程の大変な事態を招いた。占領下にある日本ではGHQの指導が優先された結果であった。また、同年には学校教育に「週五日制」が実施される。「自主性に富む子どもの育成」を目的とするもので、いち早く八幡中学校では「部落生徒会」を組織するが、集落毎に出張して共同学習や生活指導にあたる先生方の負担が大きく、昭和二十七年（一九五二）に廃止される。その前年に八幡中学校は独立校舎となり、昭和三十九年（一九六四）に会津坂下町立第二中学校に統合されるまで続く。

この頃になると、底抜けに明るい歌「お富さん」が日本中に広まっていく。昭和二十九年（一九五四）に、旧八幡小学校出身の春日八郎（会津坂下町名誉町民一九二四～一九九一）が大ヒットさせたのである。子供まで口ずさんでいた。後に彼は日本歌謡界の重鎮となる。故郷に鎮座する千手観音菩薩（立木観音）が人々に希望を与えるべく、その一つの手に彼を選んだのだろう。前掲の『戦後復興期の体験』の中の「衣食とも貧しい時代だったが、なんとなく明るく、開放的な時代だった。何か行く手に明るい希望が待っているような気分にあふれていた」（会津若松市　昭和十一年生　穴沢咏光）と呼応するかのようだ。しかし、明るさがあればこそ、忘れてはならない事実も浮かび上がって来る。「ぎりぎりの生活体験は日本中そうだったから耐えられた。それでも多くの犠牲者のあったことを忘れはしない」（前掲　熊倉光瑞）それ故、歌で人々に寄り添い、希望を与え続けたのであろう。

春日八郎

祈りの里である八幡の風土とその小学校は、日本の奇跡的な経済復興と共に歩んだ不世出の人材を輩出したのである。

▼問い合わせ先
町史編さん室　☎83-2234

ばんげの味が育てる　その35
おいしい楽しい健やかライフ

～ばんげ保育所の取り組み～

これまでの取り組みとしては、栄養士さんによる講演会や給食試食会を行ってきました。また、昨年に引き続き毎月１回の「食育指導」も行っています。

３歳・４歳児と、１歳児、２歳児に分けて、話の内容も年齢に合ったものになっています。これまでの内容として、食事の前や食事中、食後にはどうするかなどのマナーについて、夏野菜を食べると元気モリモリになることなど話をしました。

今後の予定としては、昨年好評だった「ブリの解体」や体のつくりや「うんち」について、風邪をひきにくくする食べ物の話などをする予定です。

季節に合った野菜になって登場したりなどいろいろ工夫して、子どもたちにわかりやすく話をしています。子どもたちも何になってくるのかとても楽しみにしています。その結果、食材に興味を持つようになり、給食時には必ず何が入っているか見て、わからないものがあると「これなーに？」と聞いています。苦手な物も頑張って食べるようになり、野菜嫌いの子も少なくなりました。

いろいろな食べ物を見て、触って、味わって、食べる意欲を持ち、楽しく食べられるよう更に取り組んでいきたいと思います。

また、生活の中で保護者と共に「食」を学び、「食」を楽しみ、「食」を通してすくすく育つ、そんな「食育」を実感できるようにしていきたいと思います。

十五夜では、みんなで上手に団子をころころと丸めて、すすきや野菜と一緒にお供えをして、お月見会を楽しみました。給食では、お月見メニューが出て、喜んで食べていました。

☆★☆★11月19日（食イクの日）おすすめレシピ☆★☆★

ポテ・ココ・トリュフ

旬のさつまいもを使って、おやつやお茶のお供にどうぞ！

＜材料（4人分）＞

☆さつまいも・・・・300ｇ
（じゃがいもでもよい）
☆バター・・・・・大さじ2
☆ココア・・・・・大さじ2

＜作り方＞

①さつまいもは、皮をむいて水にさらし、乱切りにしてゆでます。（蒸してもよい）
②熱いうちにつぶして、バターを加えよく混ぜます。
③トリュフチョコをイメージして、小さく丸め、食べる直前にココアをまぶして出来上がり♪

さつまいものビタミンＣと食物繊維に注目！
ココアはカルシウムも含まれます。

図書室だより Vol.29

中央公民館図書室　TEL 83-3010（定休日：第２火曜日）

立冬を迎え、次は小雪と、足早に季節が冬へと変わってゆきます。
今年も残すところあと二ヶ月となりました。
あわただしく過ぎてゆく日々のなかで、ゆっくりと読書をする時間を作ってみてはいかがですか？

初冬におすすめしたい詩の特集

「(あめゆじとてきてけんじや)」 (雨雪を取ってきて、賢治兄さん)	冬は鉄礎を打つて又叫ぶ、 一生を棒にふつて人生に関与せよと。
死にゆく妹が、兄賢治にみぞれを取ってきて欲しいと頼んでいる言葉です。 詩集『春と修羅』の中の「永訣の朝」という、24歳で病死した妹を想い詠んだ美しい詩です。 『宮沢賢治：日本の詩』 宮沢賢治/〔著〕　入沢康夫/編 ほるぷ出版	「冬の言葉」という詩の一節です。 高村光太郎は冬の詩を多く作っています。 よく知られた詩もたくさんありますが、あらためて読んでみると、また違った発見があるかもしれません。 『高村光太郎：日本の詩』 高村光太郎/〔著〕　岡庭昇/編 ほるぷ出版

新着本の紹介

親子向け	あかにんじゃ (えほんのぼうけん；44)	一般向け	光圀伝
	穂村弘／作　木内達朗／絵 岩崎書店		冲方丁／著 角川書店
あかにんじゃはまっかなにんじゃ。ひみつのまきものをねらっておしろにしのびこんだけど、まっかなすがたはとってもめだってしまいます。赤忍者が活躍する痛快娯楽活劇絵本。		生涯を賭した「大日本史」の編纂という大事業。大切な者の命を奪ってまでも突き進まねばならなかった、孤高の虎・水戸光圀の生き様に迫る。「あの黄門様」のイメージを一新する一代記。	